

## はじめに

本書は、人材ビジネス研究寄付研究部門のプロジェクトである「介護分野における派遣スタッフ活用のあり方調査」を取りまとめたものである。プロジェクトメンバーは、大木栄一（職業能力開発総合大学校准教授）、佐藤博樹（東京大学社会科学研究所教授）、堀田聡子（東京大学社会科学研究所人材ビジネス研究寄付研究部門特任准教授、プロジェクト代表）である。

本プロジェクトでは、介護分野で派遣事業を行う事業者として株式会社スタッフサービス、セントスタッフ株式会社、株式会社ツクイ、株式会社ニチイ学館、株式会社ニッソーネット、株式会社やさしい手の6社の担当者の皆様にもご参加いただき、介護分野における派遣活用の現状や課題に関する有益なご意見をいただくとともに、本調査の実施にあたり、多大なるご協力をいただいた。

本プロジェクトでは、高齢者介護施設における介護派遣スタッフの活用実態を把握するための事業所調査（派遣先調査）と、介護派遣スタッフの就業実態と就業意識を把握するための個人調査（派遣スタッフ調査）の2つの調査を実施した。本書は、主に2つの調査の単純集計結果及びクロス集計結果の概要を、派遣スタッフとして他の職種で働く者や、介護保険事業所に雇用されて働く者に関する既存の調査結果と比較しながら紹介するものである。

本プロジェクトを企画した背景には、高齢者介護施設で働く介護派遣スタッフが増加しているだけでなく、介護職場では施設による直用の社員と同様の仕事を任された介護派遣スタッフや、社員として採用される介護派遣スタッフも少なくないなど、高齢者介護施設にとっては介護派遣スタッフの活用が、介護職場の戦力としてだけでなく、介護職の人材確保策としてきわめて重要となっていることがある。他方、派遣スタッフの側からみると、仕事に関する指示が十分でないことや仕事上のコミュニケーションがうまくとれないといった問題点も指摘されており、高齢者介護施設として、派遣スタッフにとっても魅力的な職場とすることが人材活用上の課題となっているのである。こうした課題の解決に少しでも貢献するために本プロジェクトが企画された。

また、本プロジェクトの先行研究として大木栄一・堀田聰子「高齢者介護施設における派遣スタッフの活用」佐藤博樹・佐野嘉秀・堀田聰子編『実証研究 日本の人材ビジネス』（日本経済新聞出版社、2010年）が刊行されているので、参照されたい。

本研究は、ご多用中にもかかわらず、調査にご協力いただいた6社の担当者の方々、アンケート調査にご回答いただいた派遣先及び派遣スタッフの皆さまのご協力によって可能となったものである。記してお礼申し上げます。

最後に、本研究のとりまとめに際して、人材ビジネス研究寄付研究部門の松浦民恵特任研究員と和田恵美子氏、田村美樹氏にお世話になった。

2010年3月

東京大学社会科学研究所教授  
佐藤 博樹